



夏休み自然探検隊

2005年からトヨタ自然学校で夏休み自然探検隊を開催しています。2009年は、「ぼくたち、わたしたちの『環境にイイことプラス!』なエゴかるた」に応募した小学校4年生から6年生の20名が、世界遺産白川郷の自然と先人達の知恵を感じながら、自然と共生するための未来につながる技術を体験してきました。

in トヨタ白川郷自然学校

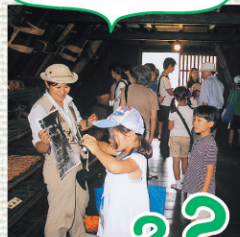
1日目

第5回 夏休み自然探検隊



世界遺産
白川郷合掌集落の
前で

昔の人は雪深い白川郷で
どうやって生活して
いたのかなあ?



ハチミツを取った後のハチ
の巣の蜜蝋(ミツロウ)でキャ
ンドルをつくりました。い
ろんな生き物からいろん
なものをもらっているんだ
ね。これも生物多様性だね



夕食はちょっと
背伸びして
テーブルマナー講習

手のひらを合わせることを
合掌というよ。
合掌の形に似ているから
合掌造りなんだね

2日目



気持ちのイイ、森の朝!!
みんなはどんな生き物と
出会えたのかな?



カイコが繭を固定するために
出した生糸くずを
材料にタペストリーを
作りました



水から水素を分解した
水素電池は
未来型のエネルギー。
CO₂を出さないで車を走らせませす



小川で水車を使った
水力発電で
豆電球をつけました



3日目



いろいろ発見があった
白川郷とも
いよいよお別れ



ひるがの高原で
野菜収穫体験。
とれたての大根は
あまくておいしいよ!

大根は大地のめくみ!
土の中にしっかり根をはって
大きくなっていました



牧歌の里では
人に役立つ動物と
ふれあいました

